取扱説明書

Takakita

可変径ロールベーラ

北海道仕様　ＶＣ１６２１Ｗ
都府県仕様　ＶＣ１６２１ＷＮ

本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。

1～37 ページ　　38 ページ～

株式会社タカキタ

は　じ　め　に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、**可変径ロールベーラ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

●お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
●製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
●この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
●本書は、**注意**として、製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
●なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
●ご不明な点やお気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠警告サイン

⚠　印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠危険　**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。**

⚠警告　**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。**

⚠注意　**その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。**

目　　次

⚠ 安全に作業するために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

本製品の使用目的とサービスについて ・・・・・・・・・・・・・・ 20

各部の名称とはたらき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

作業前点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

トラクタへの装着 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

1. ドローバへの装着のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
2. セーフティーチェーンの接続・・・・・・・・・・・・・・ 41
3. ユニバーサルジョイントの取付け・・・・・・・・・・ 41
4. 油圧ホースの接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
5. コントロールボックスの接続・・・・・・・・・ 42
6. 灯火の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

運転に必要な装置の取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

1. ベール直径、密度の取扱・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
2. 累積表示の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
3. ピックアップドラムの高さ調整・・・・・・・・・・・・ 44
4. グラスプレスローラの高さ調製・・・・・・・・・・・・ 44
5. ステップの取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
6. リヤチャンバの下降防止・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
7. ネットの取付けと通し方・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
8. トワインの取付けと通し方
（オプション）・・・・・・・ 47
9. トワイン巻付けピッチの調整
（オプション）・・・・・・ 48
10. ナイフホルダ開閉の方法・・・・・・・・・・・・ 49
11. 切断ナイフの取外し、取付け・・・・・・・・ 50
12. 切断長の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
13. 切断ナイフの手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
14. 公道走行時のゲージホイル格納位置・・ 52

作業方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

1. 作業手順と要点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
2. 作物の拾い上げ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
3. 作業時のカッティングドラム部
草詰まり解除・・・・・・・ 55
4. 作業時の結束手順とトラブル対応・・・・・ 56
5. ベールの放出（キッカー使用時）・・・・・・・ 57
（キッカー取外し時）・・・・・ 57
6. 傾斜地での作業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

簡単な手入れと処置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

1. 各部ローラチェンの張り調整・・・・・・・・・・・・・ 59
2. 自動注油・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
3. 自動注油装置のエア抜きのしかた・・・・・・・・・ 62
4. グリースアップのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
5. チャンバ部のグリースアップ・・・・・・・・・・・・・ 63
6. オイル交換のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
7. タイヤの空気圧の調整、及び磨耗損傷・ 64
8. 車輪止め・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
9. タイトベルトテンションの緩めかた・・・ 65
10. ベール圧力制御バルブ操作・・・・・・・・・・ 66

不調診断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

付 表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

1. 主要諸元・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
2. 主な消耗品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
3. オイル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
4. 構成部品の位置（電装）・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
5. 配線図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
6. ローラの配置とタイトベルトの通し方・ 73
7. 油圧回路図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
8. キッカーアタッチの組付け手順・・・・・・・ 75

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解したうえで使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。
機械を人に貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

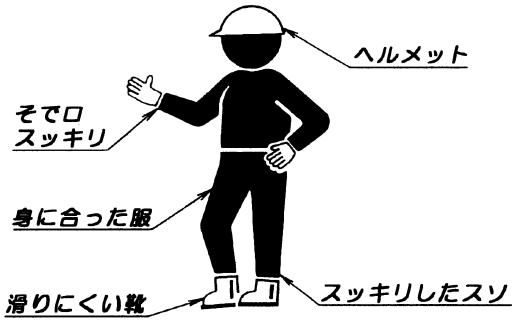
(1)使用する人の条件

次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- ●飲酒したとき。
- ●過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- ●妊娠しているとき。
- ●取扱方法を熟知していない人。

(2)使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3)適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

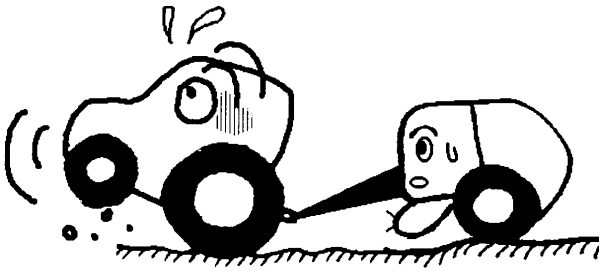
●適応トラクタ馬力

型　式	適用馬力 kW(PS)
VC1621W	58.8～99.3kW (80～135PS)

- ●装着方式　　:ドローバ
- ●PTO回転速度　:540 min^{-1}
- ●電源用バッテリ　:DC12V
- ●油圧取り出し　: 複動油圧1系統
  単動油圧2系統
- ●油圧最高圧　　:20.5MPa(210 bar)

(4)装着時の前後のバランス確認

トラクタに装着して持ち上げたときに、総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保するか、できなければ装着しないでください。



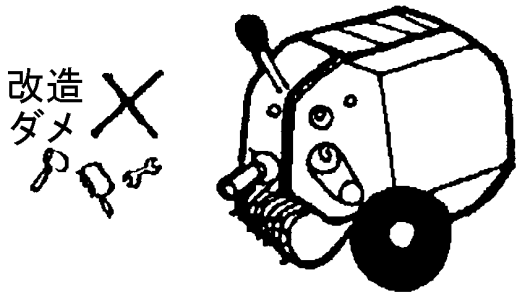
(5)バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定されたウエイト以外は取付けないでください。

⚠ 安全に作業するために

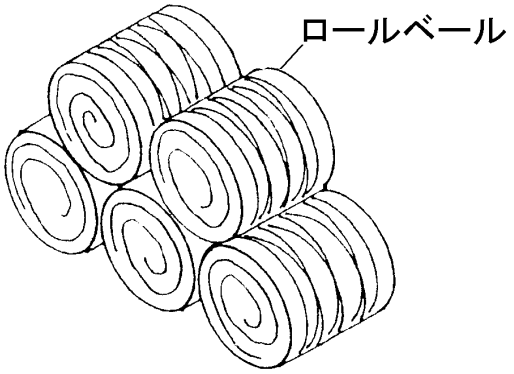
(6)機械の改造厳禁

指定以外の部品を取付けないでください。
また、改造をしないでください。



(7)使用目的以外への使用禁止

稲わら、麦稈、牧草のロールベール梱包を目的とした機械です。
他の目的には使用しないでください。



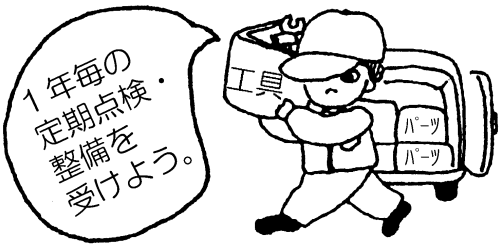
(8)機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。

2. 点検・整備をしてください

(1)1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

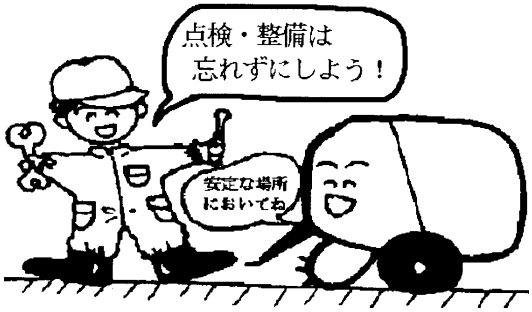


(2)作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3)点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でPTOを切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



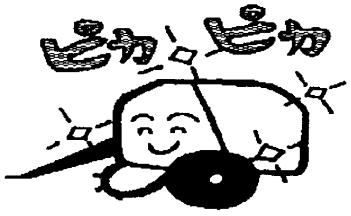
(4)ナイフに注意すること

ナイフ類は、絶対に素手で触れないでください。
必ず手袋などの保護具を着用してください。

⚠安全に作業するために

(5)機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。

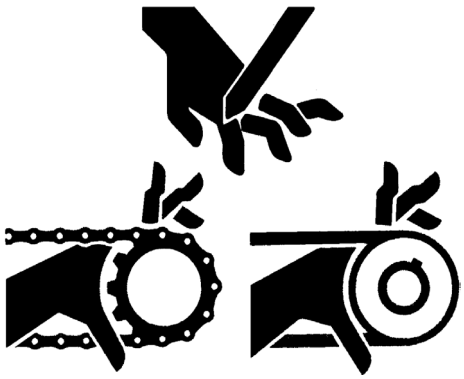


(6)排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときは、エンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。

(7)カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずPTOを切り、エンジンを停止してから行ってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

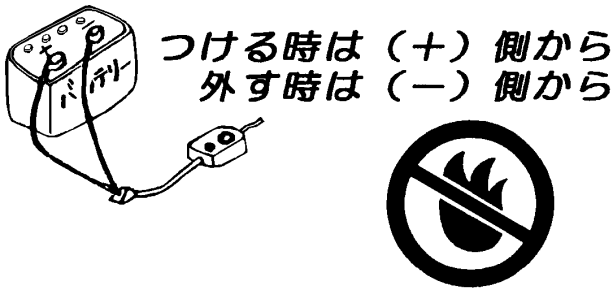


(8)注油・給油するときは

PTOを切り、エンジンを停止し、回転部分が完全に停止してから行ってください。

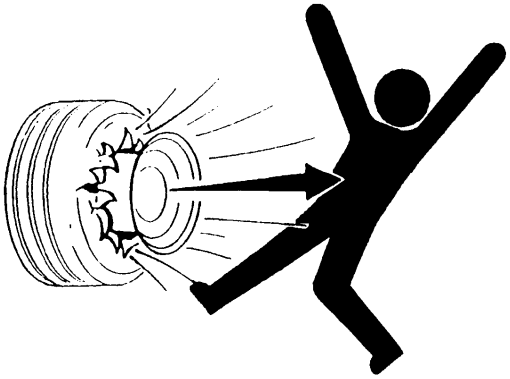
(9)コントロールボックスの電源脱・着は

トラクタのバッテリーより電源を取出します。
取付けは、(＋)側から行ってください。
外すときは、(－)側から行ってください。
逆にすると火花が飛び危険です。
(詳細は本文の『コントロールボックス』の取付けを参照してください。)



(10)タイヤの点検・修理をするときは

①タイヤの空気圧は、規定の空気圧を必ず守ってください。
②空気の入れ過ぎはタイヤ破損の恐れがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。
③タイヤに傷があり、その傷がコード(糸)に達している場合は、使用しないでください。タイヤ破損の恐れがあります。
④タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは十分な整備設備をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップなどの専門店に依頼してください。

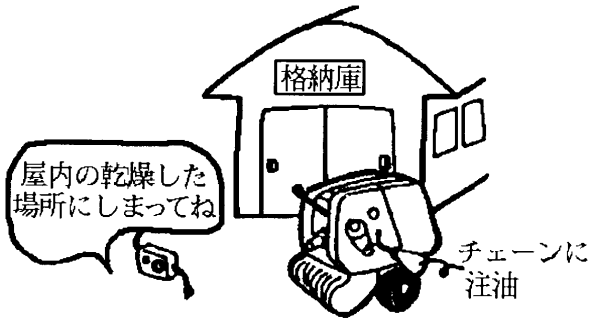


⚠安全に作業するために

(11)長期格納するときは

機械をきれいにし、回転部には十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。

コントロールボックスは、トラクタより取外して屋内の乾燥した場所に保管してください。



3．作業・移動をするときは

(1)人や動物を近づけない

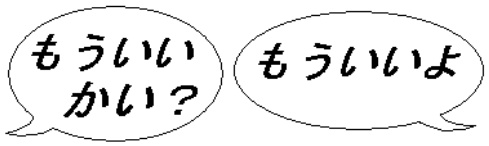
特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

(2)PTO回転中は危険です

回転部には近寄らない、触れないを守ってください。

(3)2人以上で作業するときは

2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4)エンジンを始動するときは

PTOを切り、変速レバーを中立にし、周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。

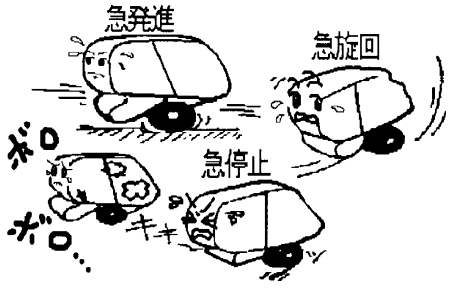
守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

(5)急な発進・停止・旋回・スピードの出し過ぎ禁止

スピードを出し過ぎたり、急な発進・停止・旋回は事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は危険です。

作業スピードは極力低くして作業を行ってください。



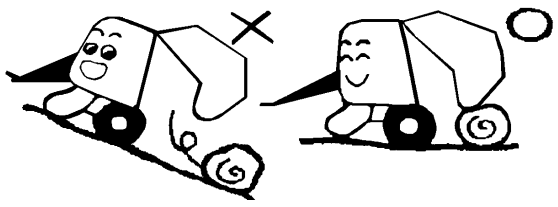
(6)傾斜地で作業するときは次のことを必ず守ってください

①斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。

斜面の作業は、必ず直角方向に走行してください。

②傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

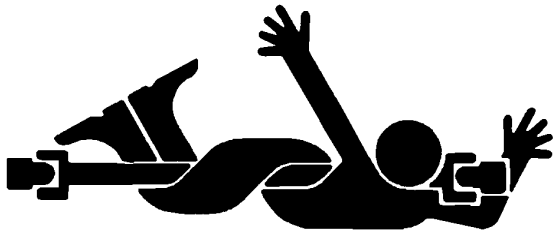
③傾斜地でのベール放出は、谷側にベールが転がって危険です。必ず平坦地まで移動して、安全な場所で放出してください。



⚠ 安全に作業するために

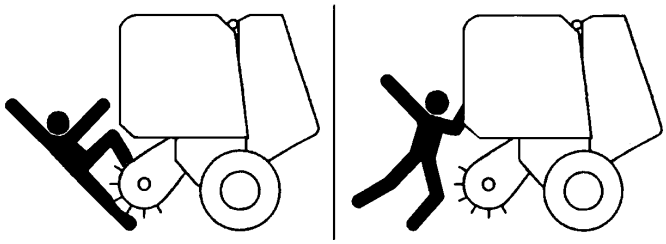
(7)回転中のユニバーサルジョイントには触れない

回転しているユニバーサルジョイントに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。



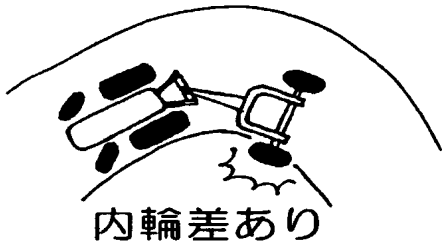
(8)回転中のピックアップドラムやタイトベルトには触れない

回転しているピックアップドラムやタイトベルトに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ重傷を負うことがあります。



(9)移動および作業の旋回時は

トラクタに本機を牽引して旋回するときは、内輪差が生じるので十分注意してください。急旋回は危険ですので行わないでください。

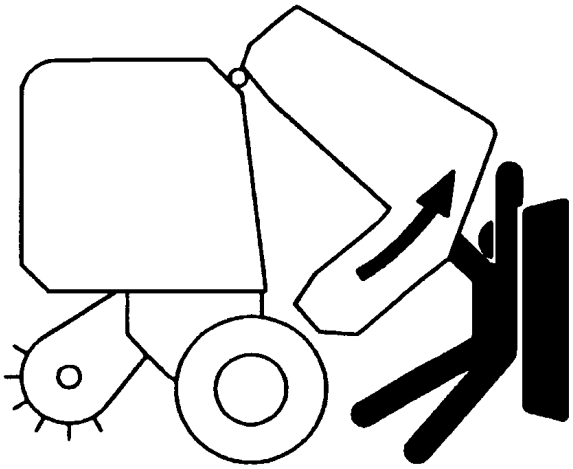


(10)巻き付き草などを取り除くときは

PTOを切り、エンジンを必ず停止し、回転部が完全に停止してから行ってください。

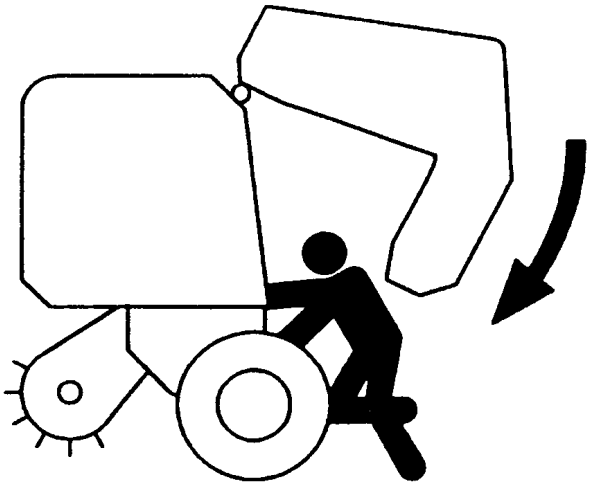
(11)ベールを放出するときは

ベールの放出は、後方に人がいないことや、障害物のないことを十分確認し、放出距離を考慮して放出してください。



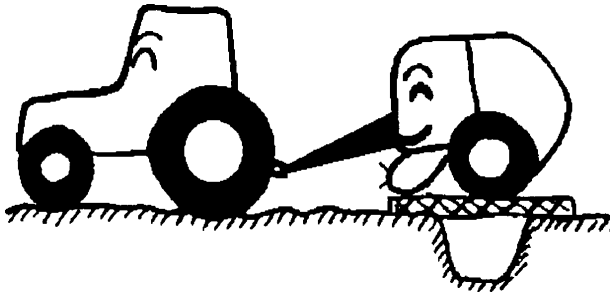
(12)チャンバを開けて作業するときは

左右のシリンダストップバルブを必ずロックしてください。ロックしないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(13)溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



⚠ 安全に作業するために

(14)作業途中で運転席より離れるときは

平坦な場所に停止し、PTOを切り、エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け本作業機側に車止めをしてください。

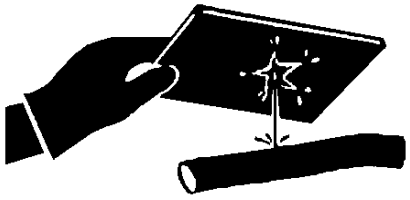
(15)高圧油に注意してください

①圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。

②高圧油による傷害を防止するために、配管・ホースなどの取外し前には必ず残圧を抜いてください。

③圧力をかける前に配管・ホースなどは正しく確実に締付けてください。

④非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。
手で油漏れを探すことはやめてください。必ず保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。



⑤万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こす恐れがありますので、すぐに医療機関を受診してください。

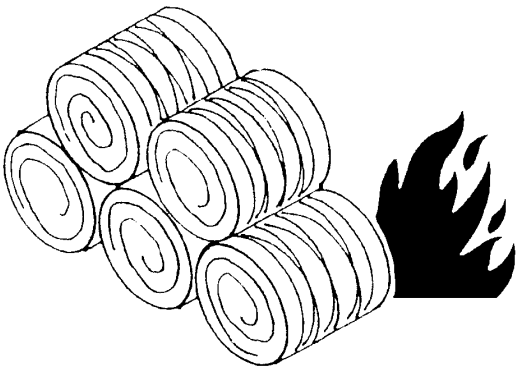
(16)高温油に注意してください

①高温油による傷害を防止するために、作業直後の注油やミッションのオイル交換はしないでください。作業前か十分温度が冷えてから行ってください。

②火傷やケガを負った場合は、速やかに医療機関を受診してください。

(17)乾草に注意

乾燥不充分な牧草をロールベールに成形すると、ロールベール内部からの発火により火災が発生する危険性があります。ロールベール成形後2～3日間は、風通しの良い屋外に仮置きした後、屋内に収納してください。



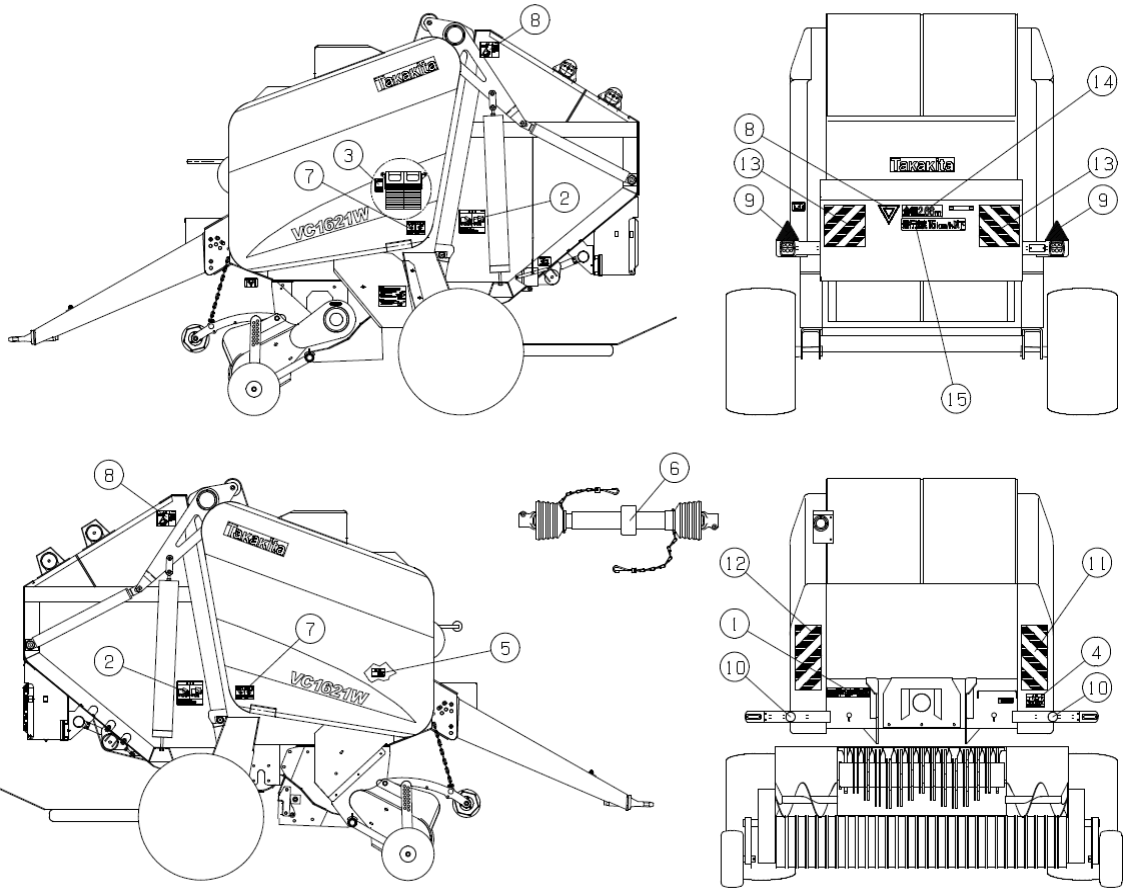
4．道路走行・輸送するときは

(1)公道走行時は保安基準を満たしてください。
保安基準を満たさない限り公道走行はできません

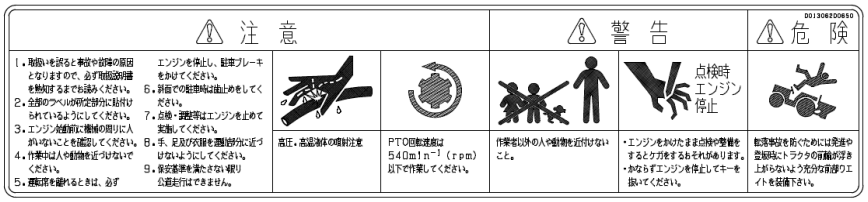
以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付位置



①部品コード 001306200650

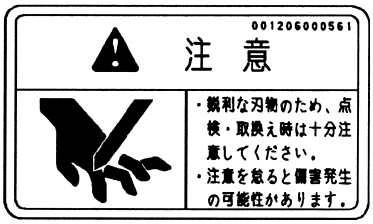


②部品コード 001206000310

③部品コード 001206000750

④部品コード 001306002330

⑤部品コード 001206000561

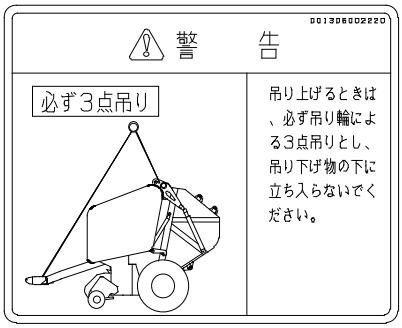


⚠ 安全に作業するために

⑥部品コード 001306950010

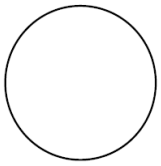
⑦部品コード 001306200360

⑧部品コード 001306002220

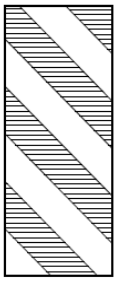


⑨部品コード 001206002340

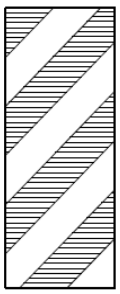
⑩部品コード 001206002280



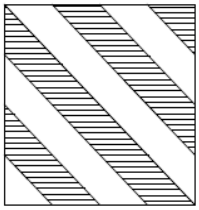
⑪部品コード 001206002320



⑫部品コード 001206002330



⑬部品コード 001206002220



⑭部品コード 001305300080

⑮部品コード 001205200050

警告ラベルの取扱注意事項

(1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、柔らかい布で水気を拭いてください。

(2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し、新しいラベルを元の位置に貼ってください。

(3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。

(4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。
気泡は隅へ押しながら抜いてください。

⚠安全に作業するために

公道走行するときは

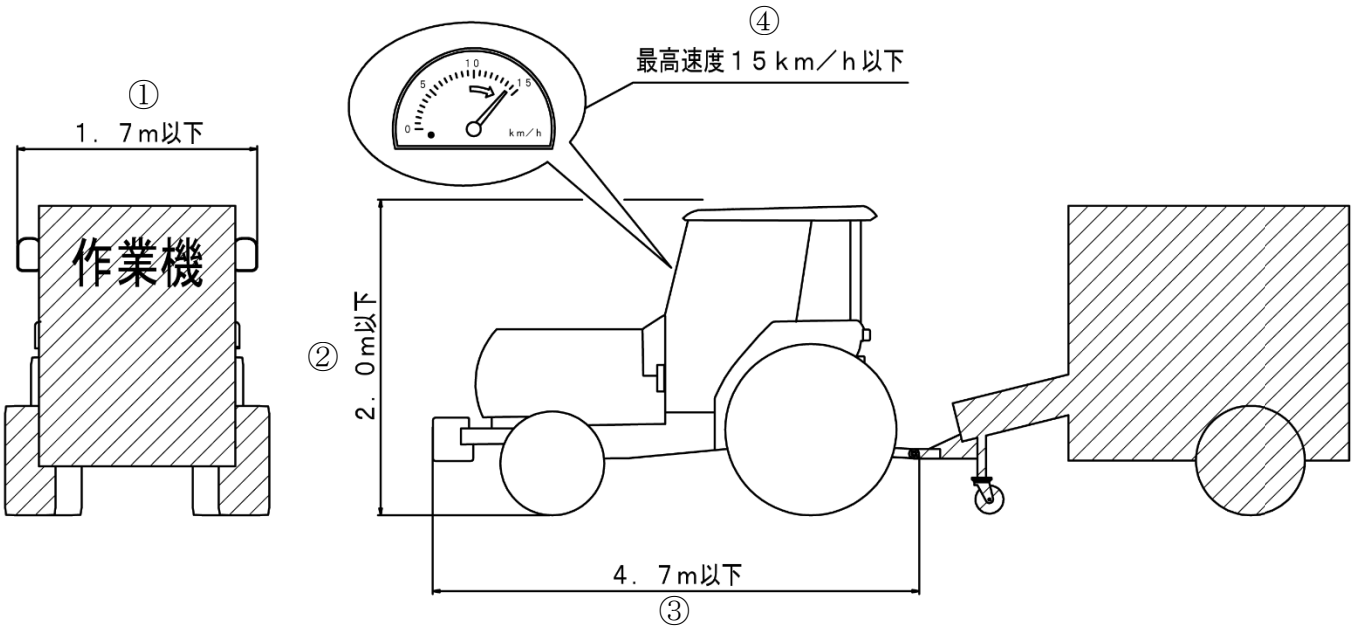
農耕用トラクタに関わる道路運送車両法の運用が見直され、保安基準に緩和措置が設けられました。必要な対応をすることで、けん引タイプの作業機で公道を走行することができます。公道走行をする際は、下記項目を確認したうえで必要な対応を行い、法令遵守して走行してください。

（１）必要な運転免許証について

トラクタの寸法が下表①～③の数値以内で④最高速度15km／h以下の場合は小型特殊免許で運行可能になりますが、下表①～④の数値をひとつでも上回る場合、大型特殊免許（農耕用に限る、も含む）とけん引免許（農耕用に限る、も含む）が必要となります。ただし、車両総重量750kgを超えない農耕作業用トレーラをけん引する場合、けん引免許（農耕用に限る、も含む）は必要ありません。

① 幅　1．7m	② 全高2．0m(安全キャブや安全フレームは2．8m)
③ 全長4．7m	④ 最高速度15km／h以下

下図を参考にご確認ください。



⚠ 安全に作業するために

（２）保安基準への適合性確認

自動車の種類と大きさにより、申請や検査登録が必要になります。
いずれの場合も農耕作業用トレーラ、農耕トラクタの使用者が保安基準適合性を確保する必要があります。

けん引車の農耕トラクタの種別	農耕作業用トレーラの種別と手続き
小型特殊自動車	［小型特殊自動車］ ①一般的な大きさのもの ※1 ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要はありません。 ②全幅が2．5mを超えるもの ・道路管理者（地方整備局、各都道府県、各市町村等）に対し、個別に特殊車両通行許可を受ける必要があります。 ③長さが12mまたは全高3．8mを超えるもの ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。
大型特殊自動車 （自動車検査証にけん引時の速度制限の基準緩和を受けた旨の記載があるもの）	
大型特殊自動車 （上記以外のもの）	［大型特殊自動車］ ①一般的な大きさのもの ※2 ・管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 ②長さが12mまたは高さが3．8mを超えるもの、その他オーバーハング等の基準を超えるもの ・管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。

※１　全幅2．5m、全長12m、全高3．8mを超えない大きさのもの
※２　農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結全長が12mを超える場合、道路管理者（地方整備局、地方自治体等）から、特殊車両通行許可を受ける必要があります。

⚠安全に作業するために

（３）灯火器類・ステッカーの取付け

下記フローチャート①～③を全てそれぞれについてご確認いただき、必要に応じて公道走行を行うための追加装備を取付けてください。

①トラクタの大きさ、最高速度による灯火器取付け位置

けん引をするトラクタは全長4．7m以下、全幅1．7m以下、全高2．0m以下、かつ最高速度15km／h以下

YES

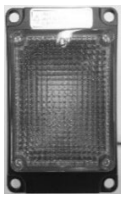
前面：A．前部反射器
後面：B．後部反射器
　　D．方向指示器
を取付ける必要があります。
※車幅灯、尾灯、制動灯、および後退灯は取り付け義務がないので備える必要はありません。

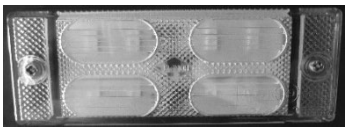
次頁の取付け例１を参照してください。

NO

前面：A．前部反射器
　　C．車幅灯
後面：B．後部反射器
　　E．コンビネーションランプ
　　F．後退灯
を取付ける必要があります。
※トラクタと農耕作業用トレーラの連結全長が6m未満の場合は、農耕作業用トレーラの後面方向指示器は必要ありません。

次頁の取付け例２を参照してください。

A.前部反射器	B.後部反射器	C.車幅灯	D.方向指示器
			

E.コンビネーションランプ	F.後退灯
	

⚠ 安全に作業するために

●装備の取付け位置

・道路運送車両の保安基準により、各種灯火器類の取付け位置は定められています。

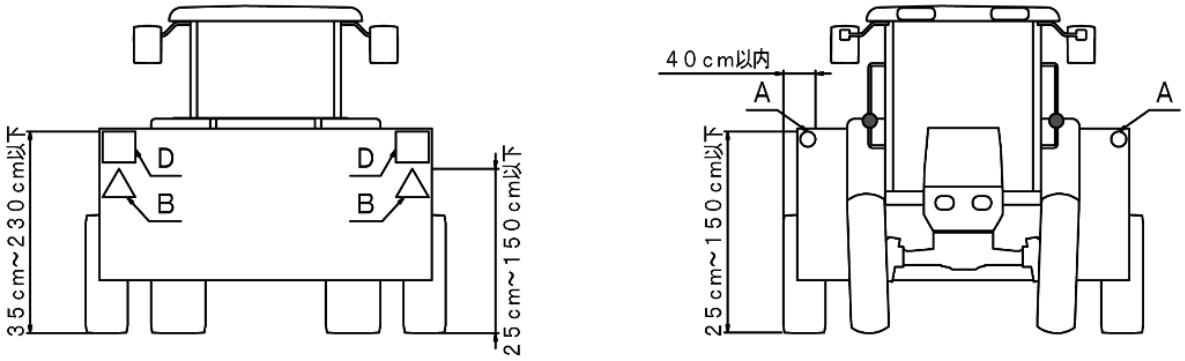
○前部反射器(リフレクター)	最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上150cm以下
○後部反射器(リフレクター)	最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上150cm以下
○車幅灯(ポジションランプ)	最外側から15cm以内、高さは地上25cm以上210cm以下
○方向指示器(ウインカー)	最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上230cm以下
○尾灯(テールランプ)	最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
○制動灯(ブレーキランプ)	最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
○後退灯(バックランプ)	高さは可能な限り25cm以上120cm以下

・車幅灯は前方から確認(視認)できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。

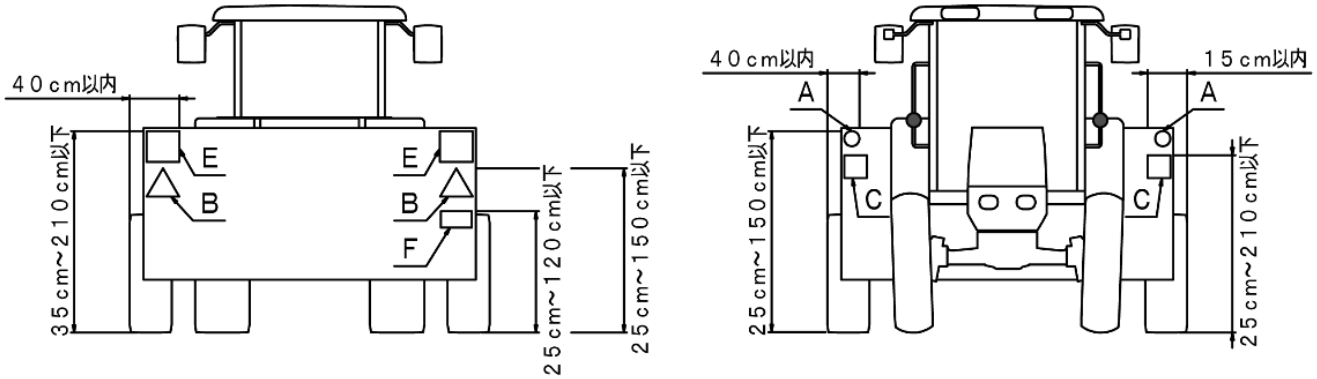
・コンビネーションランプは後方から確認(視認)できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。

・後退灯は後方から確認(視認)できる位置に上記条件を満たすように取付けてください。

(取付け例1)

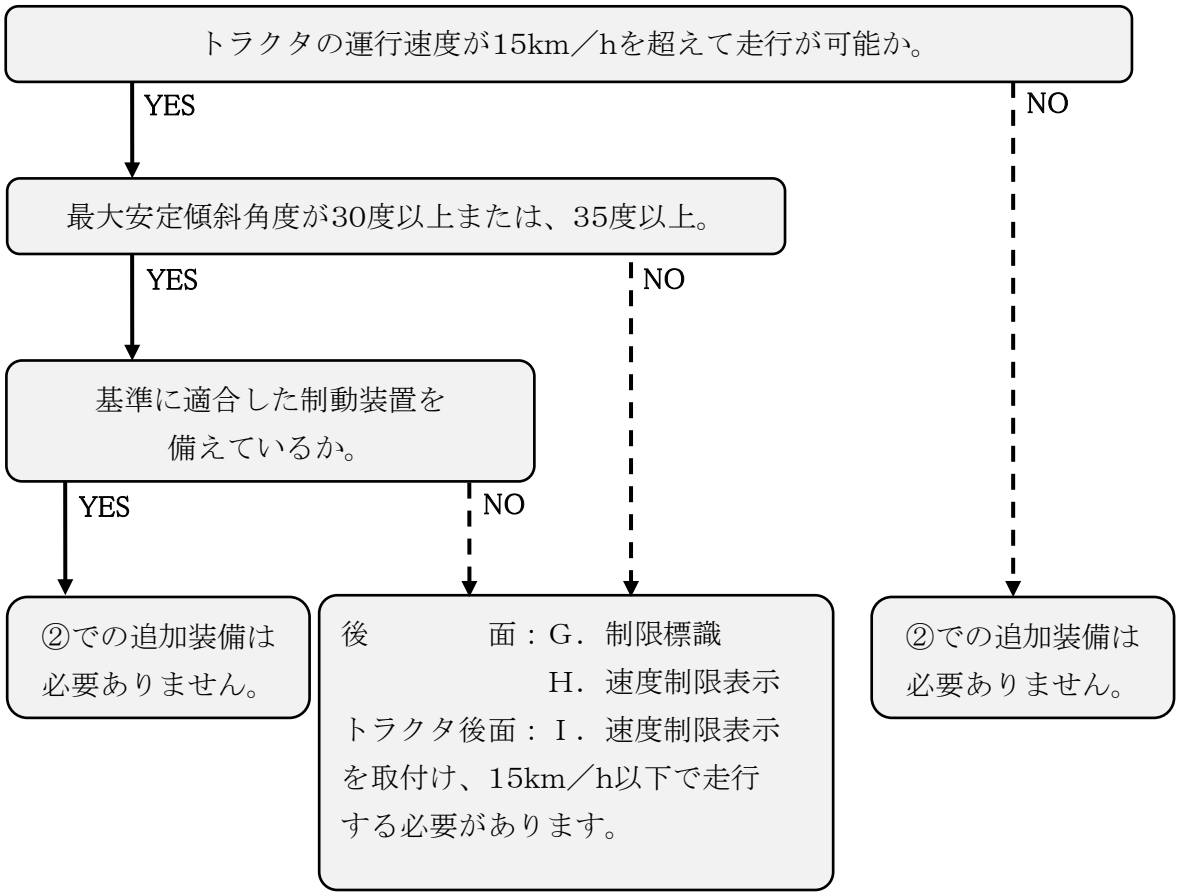


(取付け例2)



⚠ 安全に作業するために

②トラクタの運行速度



●最大安定傾斜角度が不明な場合は、運行速度15km／h以下で走行してください。

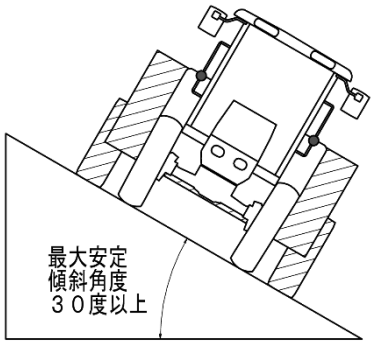
＜安定性に関して＞

作業機を装着した際に、最大安定傾斜角度が30度以上または、35度以上（車両総重量が車両重量の1．2倍以上または、積載により重心高さが上がるもの）であれば、通常の速度で道路走行できます。

上記条件を満たない場合は、

・運行速度15km／h以下での道路走行
・道路走行をする際に、Gを作業機後面に表示、
　Hを作業機後面に表示、
　Ｉをトラクタ後面・運転席に表示

を行う必要があります。



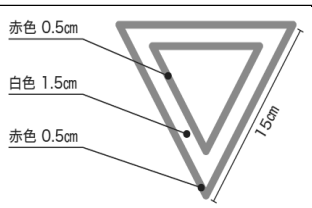
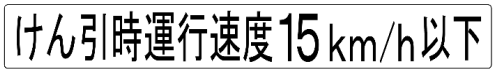
⚠ 安全に作業するために

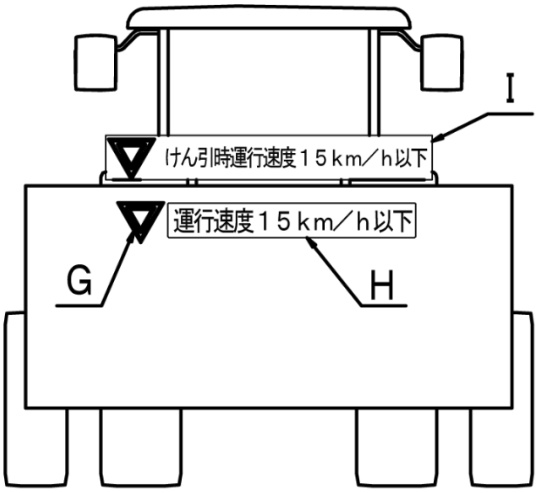
●装備の取付け位置

・G、H、Ｉは後方から確認できる位置に取付けてください。

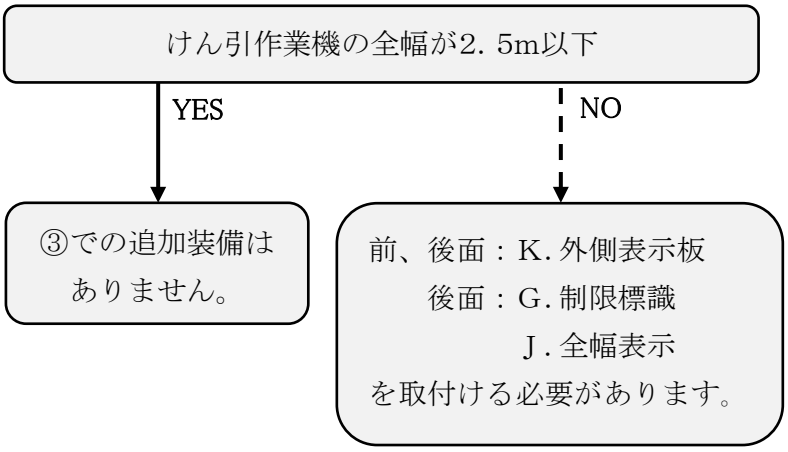
・Hは運転席にも表示する必要があります。

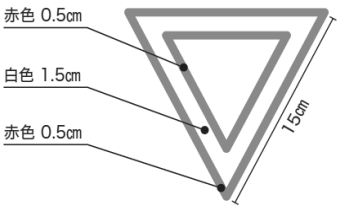
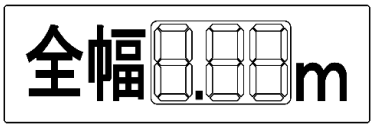
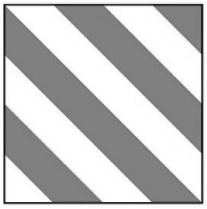
（取付け例）

G. 制限標識	H. 速度制限表示（作業機側）
	
Ｉ. 速度制限表示（トラクタ側）	
	



③作業機装着時の全幅



G. 制限標識	Ｊ. 全幅表示	K. 外側表示板
		

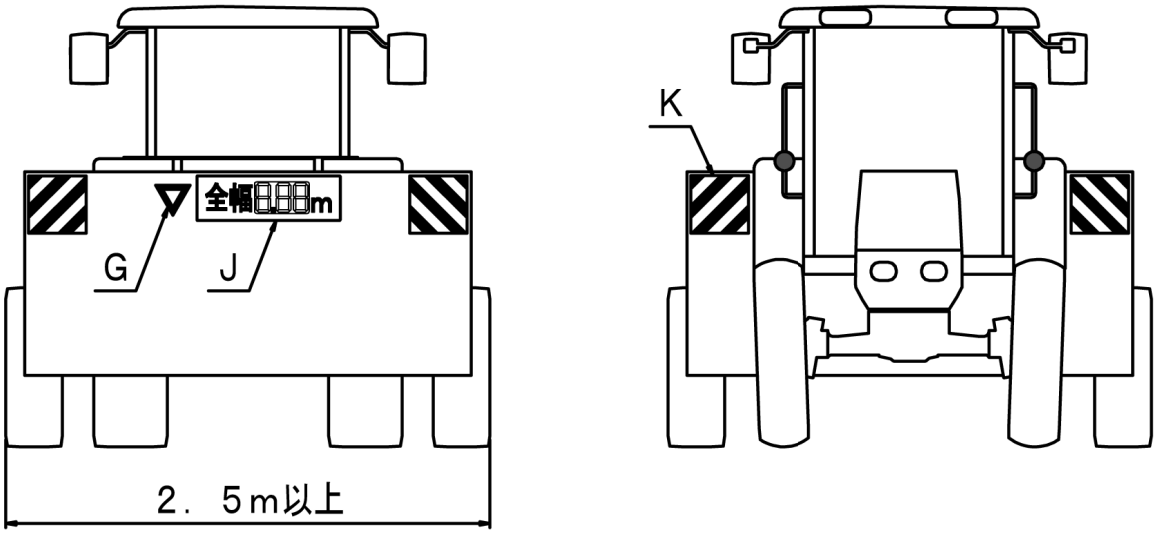
⚠安全に作業するために

●装備の取付け位置

・G、Jは後方から見やすい位置に取付けてください。

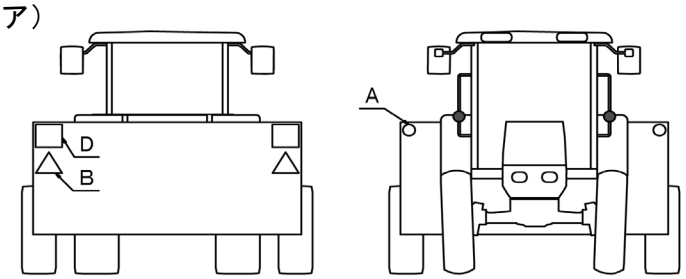
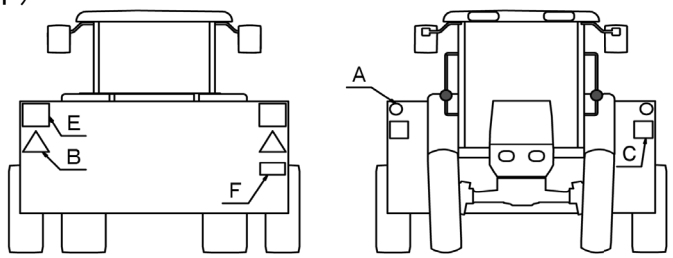
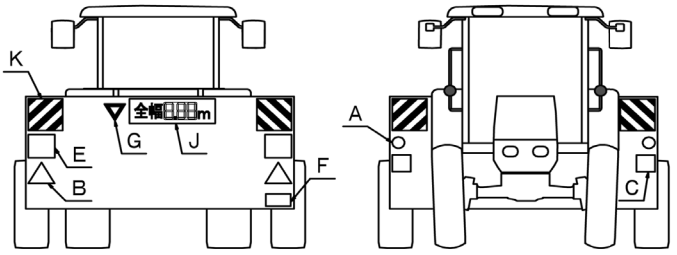
・Kは前後、両端に赤白ラインが「ハの字」になるように取付けてください。

（取付け例）



⚠ 安全に作業するために

灯火器類・ステッカー取り付け例

灯火器取付け位置 車幅灯 前部反射器 尾灯 後部反射器 制動灯 方向指示器 後退灯	全長4.7m以下、全幅1.7m以下、全高2.0m以下、最高速度15km/h以下の場合	(ア) 
	上記の寸法または最高速度15km/hを1つでも上回る場合	(イ) 
	全幅が2.5mを超える場合	(ウ) 

灯火器・ステッカー

A. 前部反射器

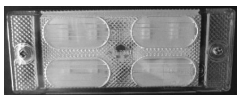
B. 後部反射器

C. 車幅灯

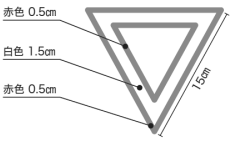
D. 方向指示器

E. コンビネーションランプ

F. 後退灯



G. 制限標識



H. 速度制限表示（作業機側）

運行速度15km/h以下

I. 速度制限表示（トラクタ側）

けん引時運行速度15km/h以下

J. 全幅表示

全幅8.88m

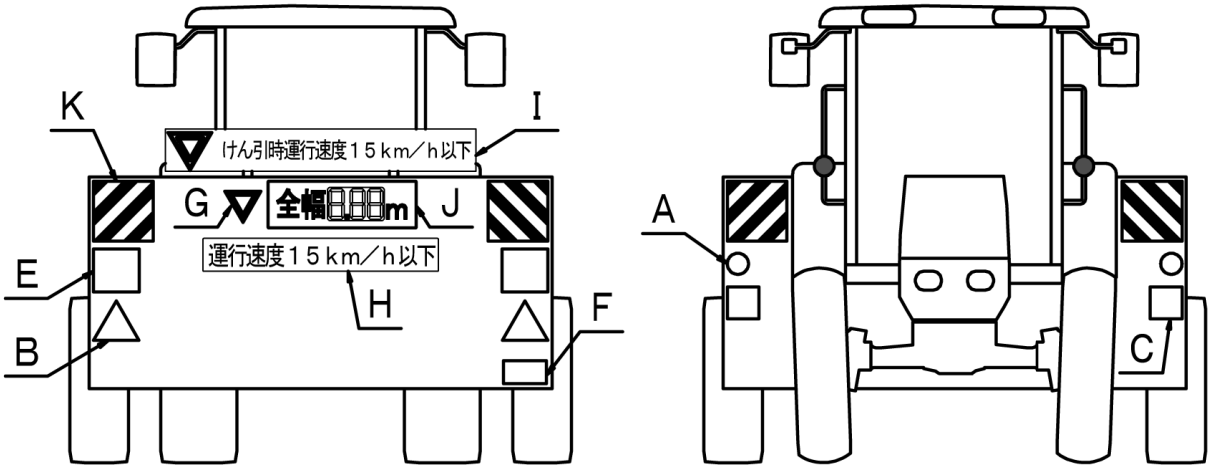
K. 外側表示板

※全幅2.5mを超過する場合は、道路管理者（国道：地方道路局、県道：各都道府県、市道：各市町村）から特殊車両通行許可を得る必要があります。

⚠安全に作業するために

●p.11「②トラクタの運行速度」を確認後、速度制限表示が必要な場合は取付けてください。

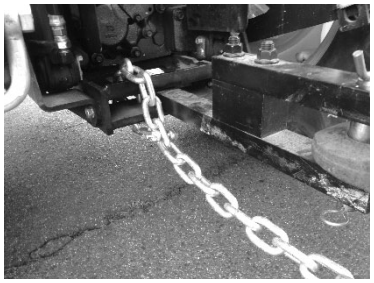
例：（ウ）に速度制限表示を追加

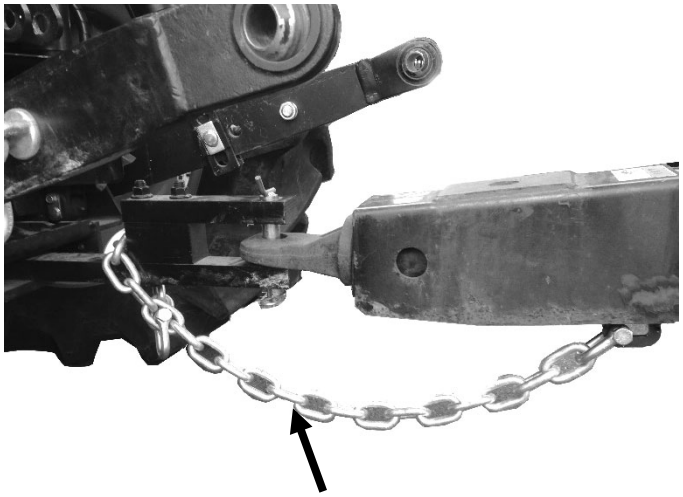


●灯火器類取付けの際には、トラクタの操作と連動して点灯することを確認後に公道走行を行ってください。また、灯火器類・ステッカーが汚れたときは視認できるように掃除をしてください。

（４）農耕作業用トレーラの構造要件（分離時の連結維持構造）に関して

農耕トラクタが農耕作業用トレーラをけん引した際に、不意に連結装置（ドローバ等）が分離したときでも農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結を保つことができる構造でなければ道路走行できません。セーフティチェーン等を備え、けん引時にはセーフティチェーン等をねじ止め等でつないで道路を走行してください。



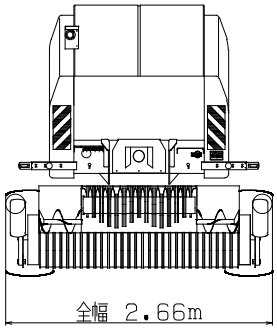


詳細は日農工「公道走行ガイドブック」(http://www.jfmma.or.jp/koudo.html)をご覧ください。
その他不明な点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

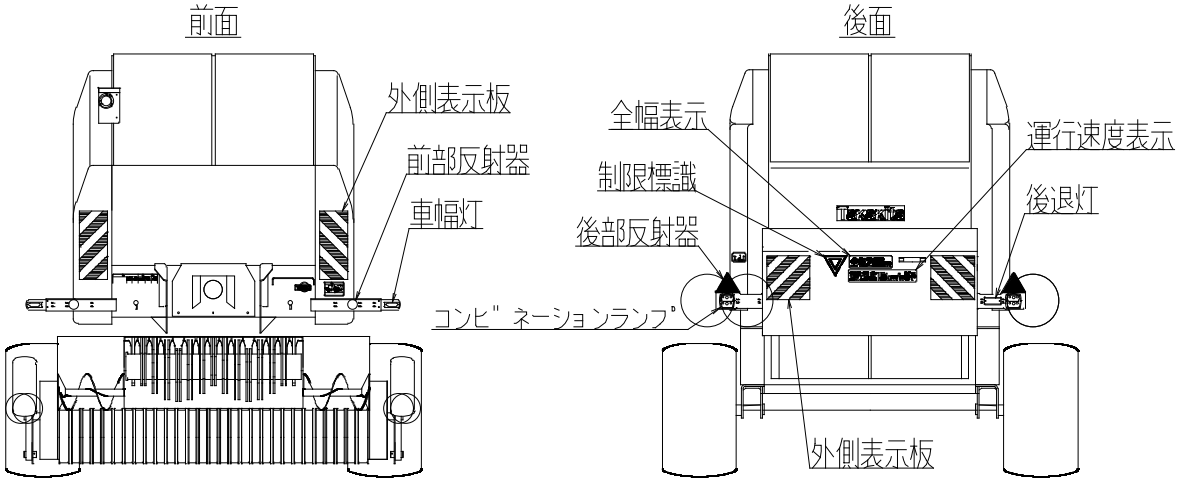
⚠ 安全に作業するために

（５）本機の公道走行対応について

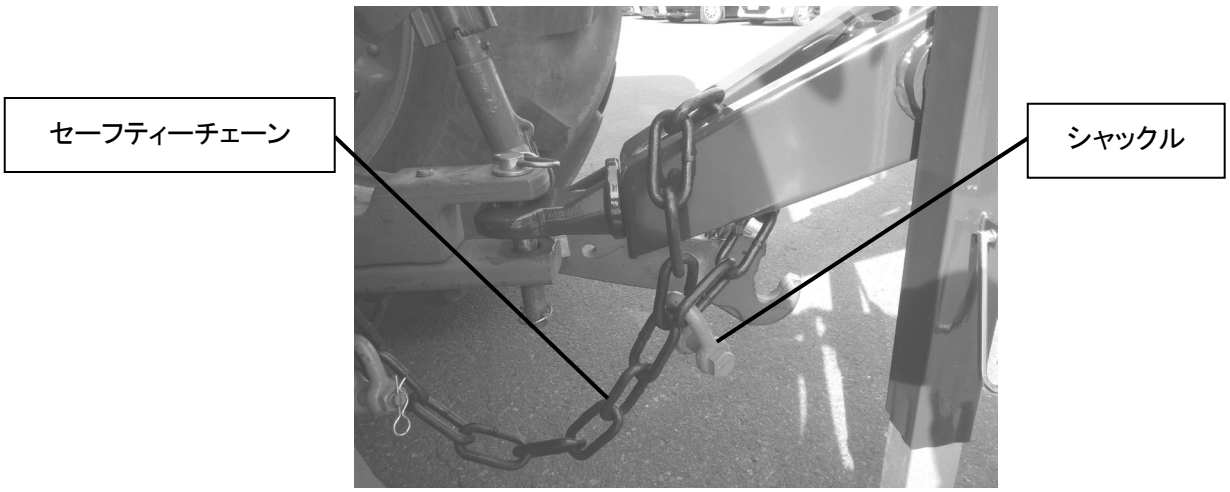
本機は、全幅が2．5mを超える作業機です。
そのため、トラクタで連結して公道走行する際は道路管理者（地方整備局、地方自治体等）に対し、個別に特殊車両通行許可を受ける必要があります。



本機には、下記部品が標準装備されています。保安基準の緩和により運行速度15km／h以下で公道走行することができます。



また、トラクタと作業機を連結するためのセーフティーチェーンと固定用のシャックルを付属しています。作業機をトラクタでけん引して公道走行する際は必ず取付けてください。取付方法については、P．41、2.セーフティーチェーンの接続を参照してください。



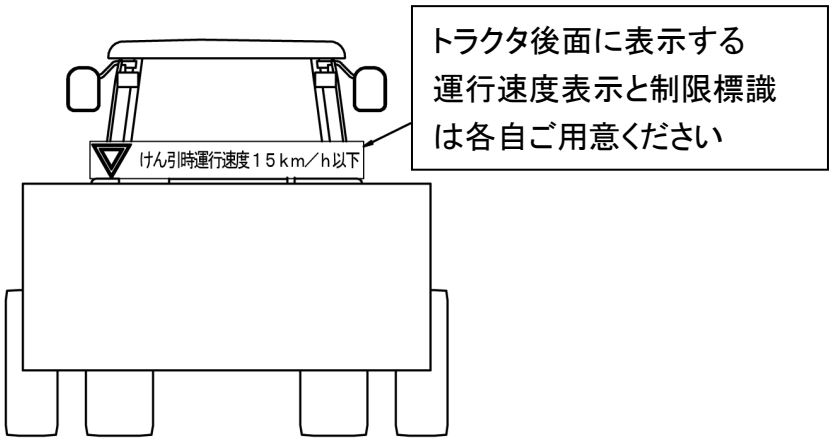
⚠ 安全に作業するために

トラクタ運転席に表示する、全幅表示と運行速度表示を付属しています。本機は全幅が2．66mであるため、全幅表示には手書きで数値欄に「2．66」、型式欄に「VC1621W」と記入していただき運転席から確認できる位置に表示してください。

全幅表示（トラクタ運転席用）

運行速度表示（トラクタ運転席用）

ただし、トラクタ後面に表示する運行速度表示および制限標識は付属されていません。お客様ご自身でご用意ください。



詳細は日農工「公道走行ガイドブック」(http://www.jfmma.or.jp/koudo.html)をご覧ください。
その他不明な点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈等をロール成形する作業にご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

アフターサービスについて

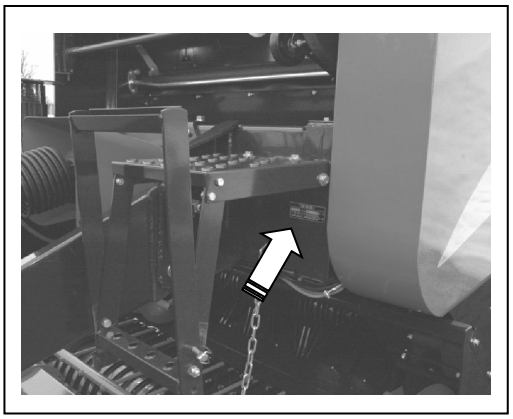
機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、JA(農協)、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。

【連絡していただきたい内容】

●品名と型式
●機体 No.（SER－No）
●ご使用状況は？
（どんな条件でどんな作業をしていたときに）
●どれくらい使用されましたか？
（約○○アール、または約○○時間使用後）
●不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体№は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

（機体銘板貼付け位置図）



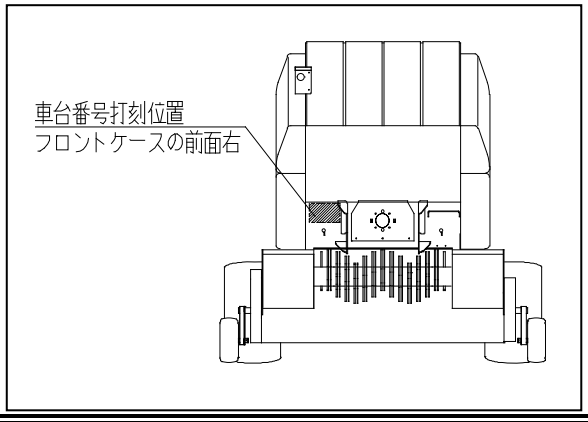
【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品　　名	可変径ロールベーラ
型　　式	VC1621W(WN)
機 体 №.（SER－№.）	
購入年月日	年　　月　　日
販売店名	TEL:　　（　　）

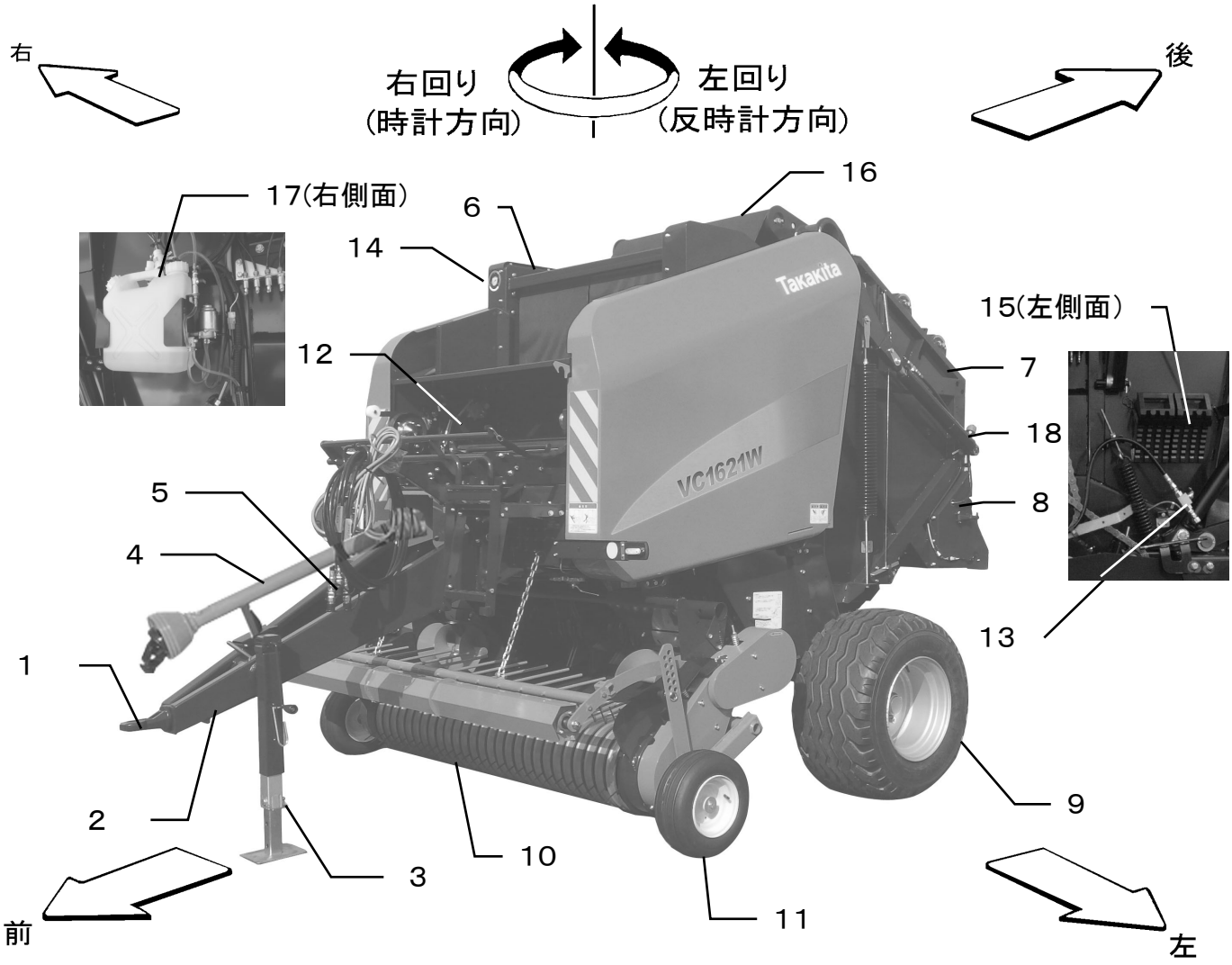
車台番号について

本製品には、上記機体 No. と関連させて機械の同一性を管理する車台番号が打刻されています。
打刻位置と打刻形式は右図を参照ください。

車台番号
VC1620-＊＊＊＊

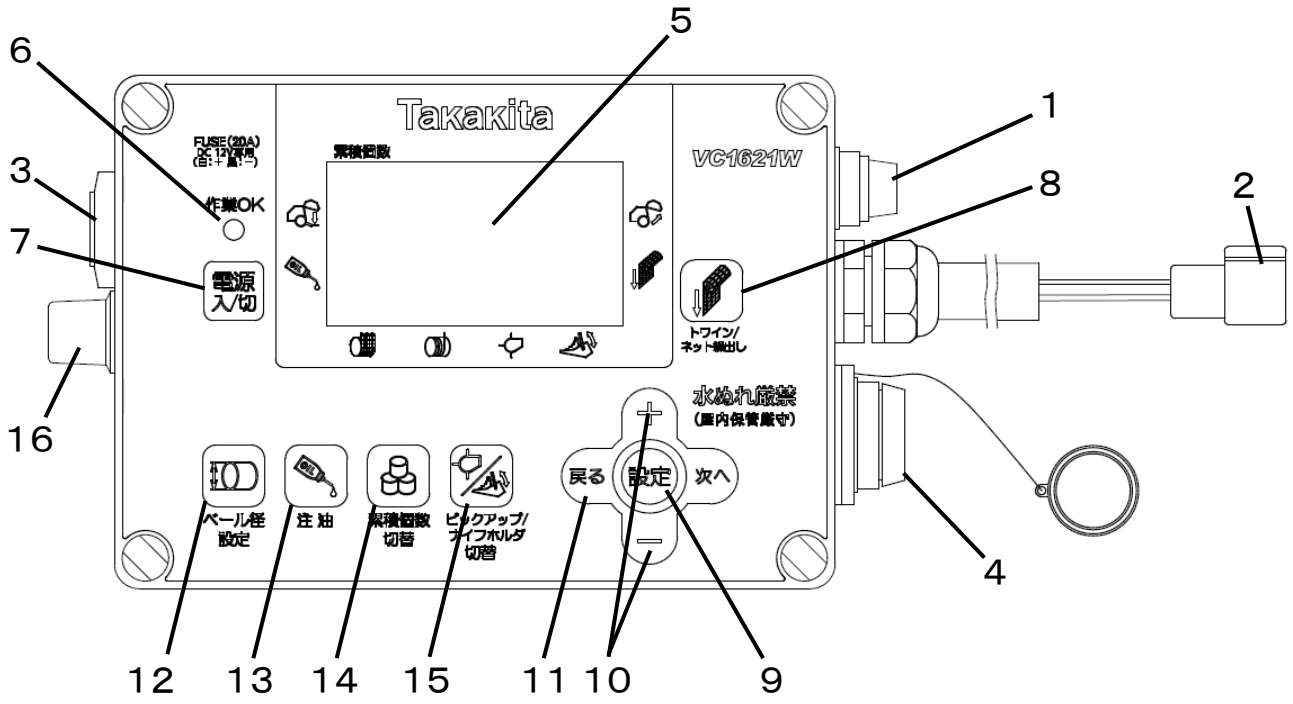


各部の名称とはたらき



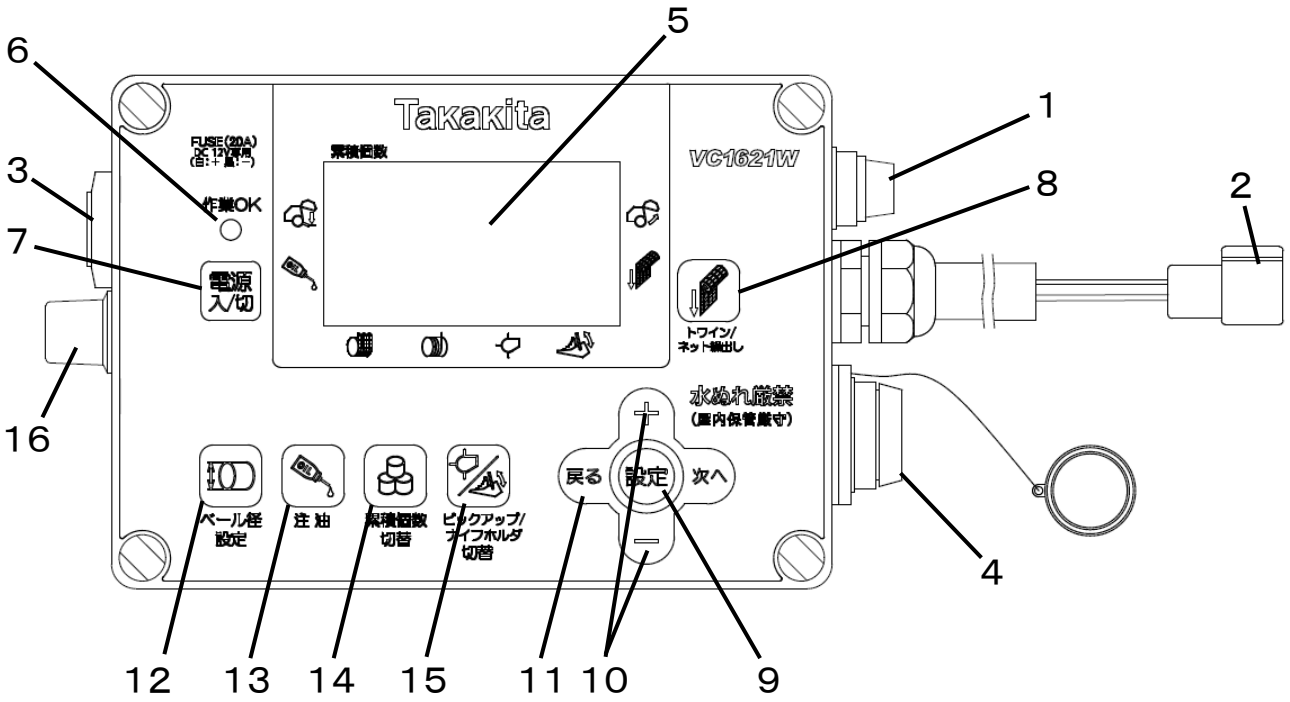
番号	名　　称	は　　た　　ら　　き
1	ヒッチ	トラクタと連結します。
2	けん引かん	トラクタに合わせてヒッチの高さを調整します。
3	スタンド	トラクタの脱着時にヒッチの高さを調整します。
4	ユニバーサルジョイント	トラクタからの動力をつたえます。
5	油圧カプラ	トラクタから油圧の供給を受けます。
6	フロントチャンバ	ベールの成形を行います。
7	リヤチャンバ	ベールを放出するために開放します。
8	ネット・トワインボックス	ネット・トワインを収納する。
9	タイヤ	低圧広幅タイヤでほ場を傷めません。
10	ピックアップドラム	牧草を拾い上げます。
11	ゲージホイール	ピックアップドラムの拾い上げ高さを調節します。
12	ネット装置	ネットでベールを結束します。
13	シリンダストップバルブ	リヤチャンバを開放して点検するときシリンダを固定します。
14	圧力ゲージ	ベールの成形圧力を表示します。
15	車輪止め	駐車時に車輪止めをしてください。
16	タイトベルト	拾い上げた牧草をチャンバー内で回転させます。
17	オイルタンク	駆動チェンへ給油するためのオイルを入れます。 （タービンオイル　ISO　VG32を4ℓ）
18	ベルトテンションシリンダ	油圧シリンダでベールの固さを調整します。

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)



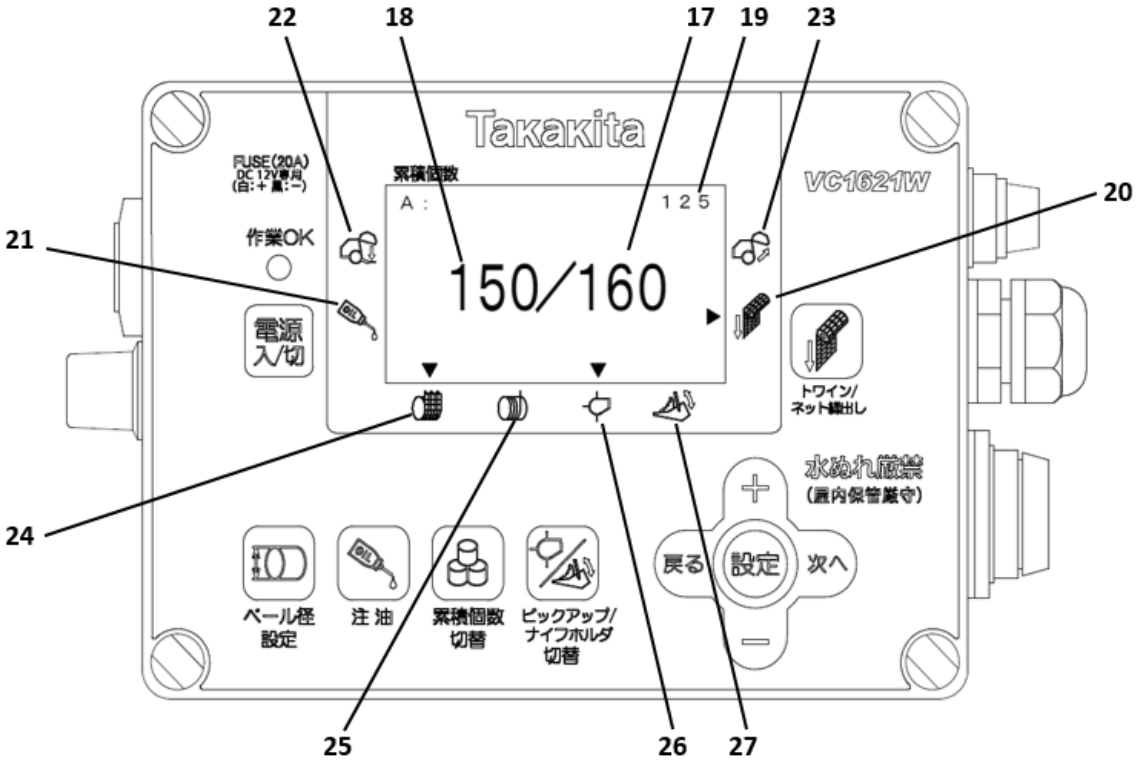
番号	名　　称	は　　た　　ら　　き
1	ヒューズ	20Aのヒューズが入っています。 ※切れたら原因を取り除き、新しいものと交換してください。 ※アンペア数が指定外の異なるヒューズを入れると、故障の原因となります 　ので行わないでください。
2	電源コネクタ	付属品の電源コードを利用し、バッテリーから直接接続してください。
3	警報ブザー	電源入と同時に「ピッピッ」と鳴ります。 設定ベール径間際で予鈴「ピッピッ・・・」設定ベール径で本鈴が 「ピィー」と鳴り続けます。 トワイン/ネットの繰り出しと同時に「ピィー」と鳴り続けます。 作業エラー時に「ピィーピィー」と鳴り続けます。
4	入出力コネクタ	作業機側コントロールボックスと接続します。
5	液晶画面	作業状態、エラー内容を表示します。
6	作業OKランプ	本機が作業を行ってよい時(草を拾ってよい時)に点灯します。 作業OKランプが消灯しているときは作業を行わないでください。
7	電源入/切ボタン	一度長押しするとコントロールボックスの電源が入り、もう一度押すと 電源が切れます。
8	トワイン/ネット繰出しボタン	設定ベール径の前にベールを結束したいときに使用します。 ※スイッチを押すとトワイン/ネットの強制繰り出しを行います。 　PTOが回転していないと繰り出しできません。
9	設定ボタン	各種作業の設定を行います。 ・　ネット巻き数(1．5～4巻き、0．5刻みで設定可能) ・　ベール固さ(10段階で設定可能) ・　ネット/トワイン切替 ・　ソフトコア設定のON/OFF ・　キッカーセンサーのON/OFF ・　注油時間(1～60秒、0．1刻みで設定可能)

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)



番号	名　　称	は　　た　　ら　　き
10	＋ボタン －ボタン	作業設定画面のときに押すと設定値が増減します。
11	次へボタン 戻るボタン	表示項目を「次の画面」や「前の画面」に切替えます。
12	ベール径設定 ボタン	ベール径を80cmから160cmまで1cm刻みで設定できます。 「ベール径設定」ボタンを押しながら ＋ か － ボタンで設定値を 増減します。
13	注油ボタン	自動注油チェン部に注油します。 押し続けると、押している間注油され、離してから設定秒間注油します。
14	累積個数切替ボタン	累積個数Aと累積個数Bの表示を切り替えるときに使用します。 「累積個数切替」ボタンを長押しすることで累積個数をリセットできます。
15	ピックアップ/ ナイフホルダ切替 ボタン	「ピックアップ」と「ナイフホルダ」の作動を切り替えます。(オプション)
16	ボリュームスイッチ	警報ブザーの音量を調整します。

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)



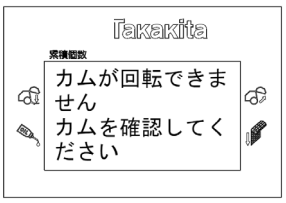
番号	名　　称	は　　た　　ら　　き
17	設定ベール径	設定したベール径が表示されます。
18	ベール径	現在のベール径が表示されます。(75cm～表示)
19	累積個数	作ったベールの個数が表示されます。
20	トワイン/ネット繰出しマーク	動作表示:トワイン/ネットを繰り出しています
21	注油マーク	動作表示:注油しています
22	キッカー降警告マーク	警告表示:キッカーが降りています
23	チャンバ開警告マーク	警告表示:チャンバが開いています
24	ネット巻き設定マーク	設定表示:ネット巻き設定
25	トワイン巻き設定マーク	設定表示:トワイン巻き設定
26	ピックアップ昇降設定マーク	設定表示:ピックアップ昇降設定(オプション用)
27	ナイフホルダ昇降設定マーク	設定表示:ナイフホルダ昇降設定(オプション用)

各部の名称とはたらき（コントロールボックス）

◆はたらき

「ディスプレイ」に、ロールベーラ部の作業状態や異常状態を表示します。
また、異常発生時は緊急度に応じてブザーを鳴らします。

記号の見かたは次のとおりです。

表示・機能	内　容	正常時	異常時
ディスプレイ	ロールベーラ部の作業状態やセンサ異常について文字で表示します。	 **静止画面**	
ブザー警報	異常時やネット交換、作業完了時にブザーが鳴ります。	―	 連続音 断続音

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

◆表示内容

操作	表示内容	ディスプレイ画面	ブザー
電源ボタンを押してください(長押し)	バージョン情報を表示します。		
	※電源を入れた時にカムが初期位置にない場合、自動的にカムが初期位置まで回転します。		
	初期画面を表示します。		

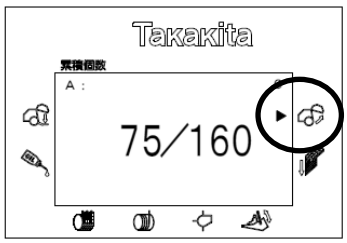
各部の名称とはたらき（コントロールボックス）

◆作業時のコントロールボックス表示

ランプ	ディスプレイ画面	内容	ブザー
	1.メイン画面		
作業OK 点灯		チャンバ内が空またはベール径が75未満のときに左図の画面が表示されます。 全てのセンサに異常がなければ「作業OK」ランプが点灯し作業を開始することができます。	
	2.予感知		
		チャンバ内のベール径が設定ベール径の90％に達したときに予鈴が鳴ります。	断続音
	3.満了感知		
		チャンバ内のベール径が設定ベール径に達したときに本鈴が鳴ります。	連続音
	4.ネット繰り出し		
作業OK 消灯		設定ベール径に達すると「作業OK」ランプが消灯し、ネットが繰り出され、ネット繰り出しマークの横に「▶」マークが表示されます。	連続音
	5.ネット結束		
		ネットが繰り出された後にネットの結束が始まり、液晶には「ネット結束中」の画面が表示されます。	

各部の名称とはたらき（コントロールボックス）

◆作業時のコントロールボックス表示

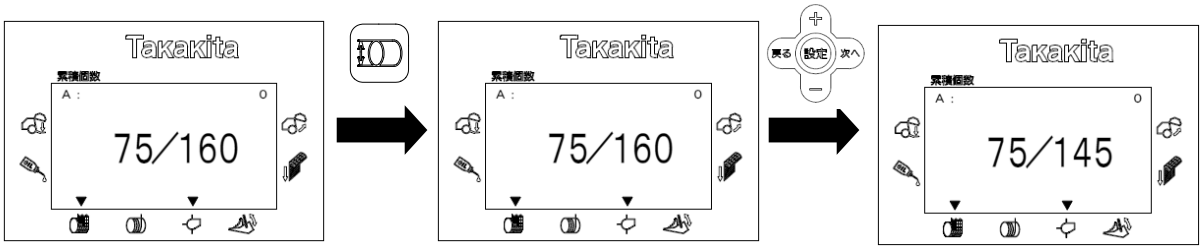
ランプ	ディスプレイ画面	内容	ブザー
作業OK 消灯	6.巻き付け完了 	ネットの結束が終わると、ネット切断用のナイフが降り、液晶には「巻き付け完了」の画面が表示されます。	連続音
	7.チャンバ開 	ベール放出のためにチャンバを開くと、「チャンバが開いています」の警告が表示されます。	
作業OK 点灯	8.チャンバ閉 	ベールが放出されチャンバを閉じると累積個数が＋1され「作業OK」ランプが点灯します。	

各部の名称とはたらき（コントロールボックス）

◆操作方法

【ベール径の設定】

初期画面で「ベール径設定」ボタンを押しながら「＋」「－」ボタンを押して設定したいベール径に合わせます。

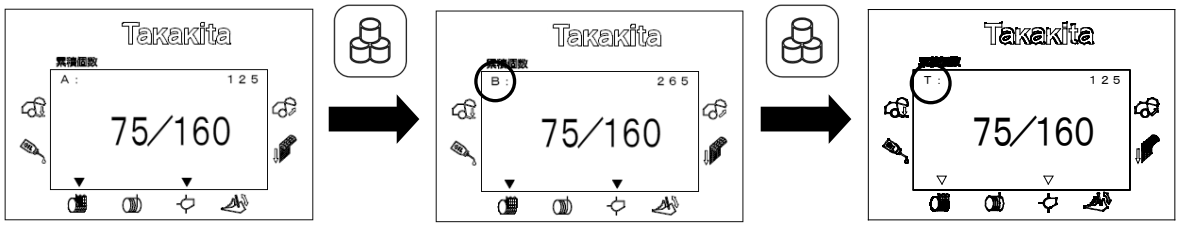


【チェン注油】

初期画面で「注油」ボタンを押します。
一度押すと自動注油チェンに設定秒間注油されます。
押し続けると押している間注油され、離してから設定秒間注油します。
ボタンが押されてから3秒後に初期画面に戻ります。

【ベール累積個数切替】

「累積個数切替」ボタンを押すごとに「A」と「B」と「T」の表示を切替えることができます。
個数のカウントをリセットするには、「累積個数切替」ボタンを長押しします。
T：は使い始めからのトータル個数を表示します。（T:のカウントはリセットできません）

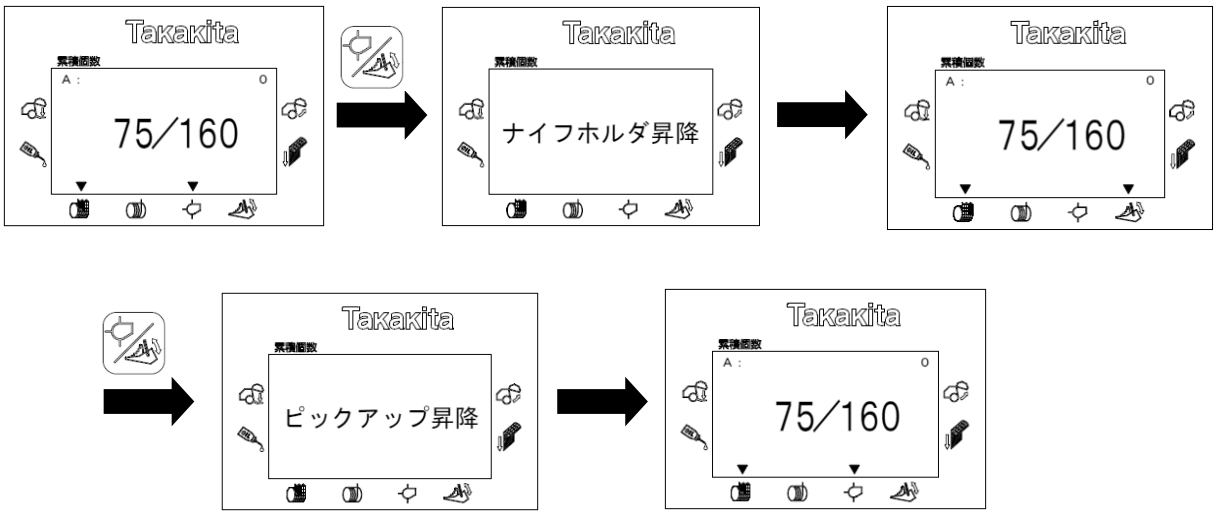


各部の名称とはたらき（コントロールボックス）

◆操作方法

【ピックアップ／ナイフホルダ切替】（オプション）

「ピックアップ／ナイフホルダ切替」ボタンを押すごとに「ピックアップ」と「ナイフホルダ」
の作動を切替えることができます。



【トワイン／ネット繰出し】

「トワイン／ネット繰出し」ボタンを押すと、規定量のトワインまたはネットが繰り出します。
ボタンを押してから3秒後に初期画面に戻ります。

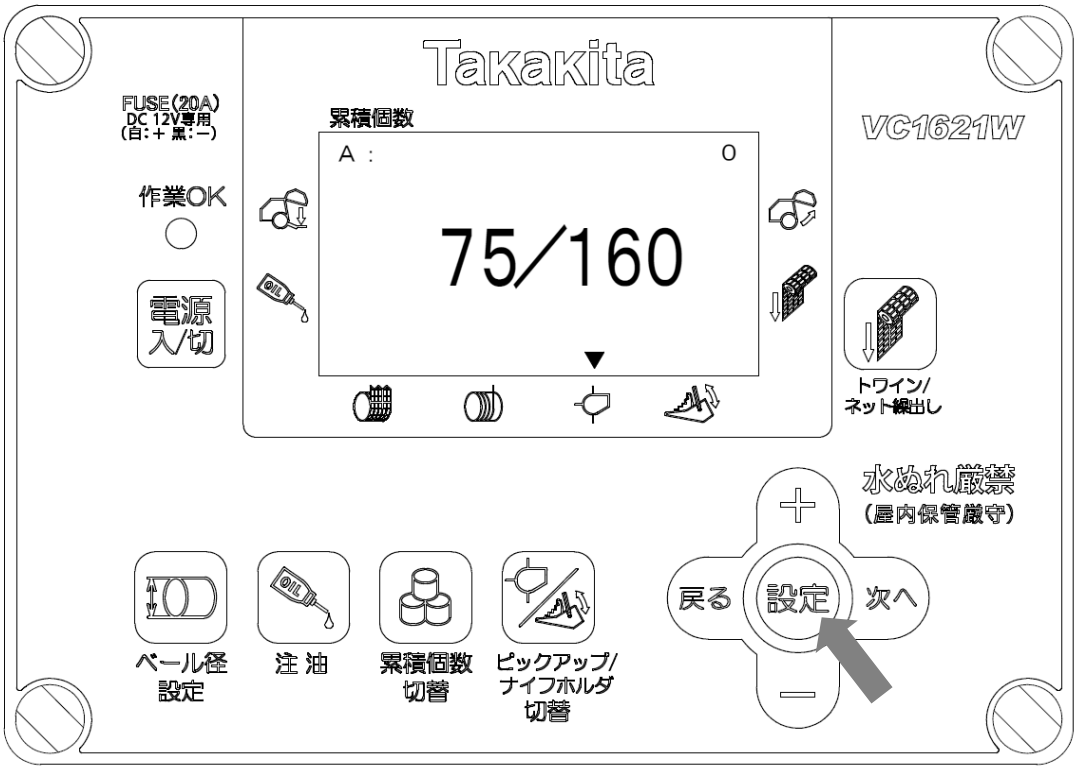
各部の名称とはたらき（コントロールボックス）

◆設定モード

6項目の「作業設定」を変更することができます。

【設定モードへの移行のしかた】

（1）初期画面の状態から「設定」ボタンを押します。



（2）「戻る」または「次へ」ボタンで設定項目を切り替えます。

（3）「＋」または「－」ボタンで設定値を変更します。

（4）設定完了後、「設定」ボタンを押し初期画面へ戻ります。

各部の名称とはたらき（コントロールボックス）

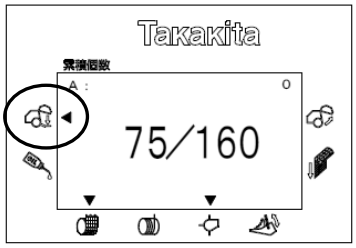
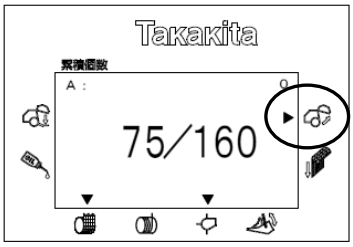
【設定モード項目】

設定項目	表示画面	初期値	設定範囲
ネット巻数		2．5	1．5～4巻
ベール固さ		8	1～10 （1刻み） （注1）
「ネット」「トワイン」切替		ネット ： 1	
ソフトコア切替		OFF ： 0	
キッカーセンサ切替		OFF ： 0	※キッカーを取り付けて作業を行う際は、キッカーセンサの設定をONにしてください。
給油時間		2．0	1～60 （0．1刻み） ベール10個ごとに設定秒間自動給油を行います。

注1．ベール加圧油圧回路のチェックを行えるように、ベール固さ設定画面を表示中にチャンバを開くと正常であれば設定ベール固さに応じて油圧圧力ゲージの針が動きます。

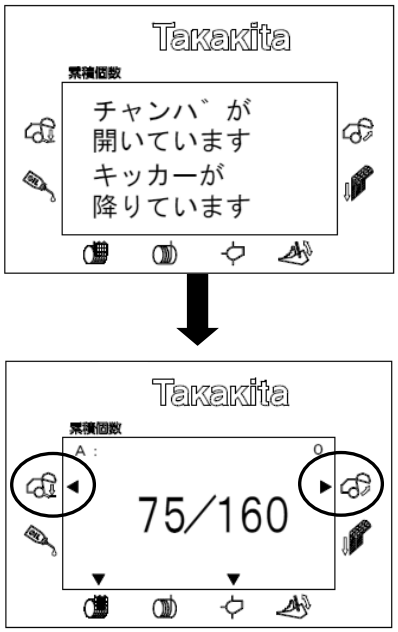
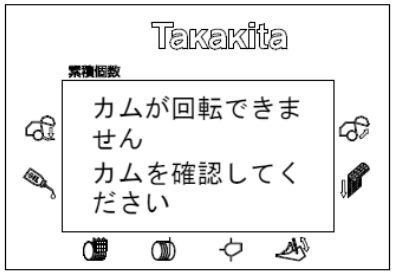
各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

【コントロールボックスの警告・エラー表示】

警告・エラー名称	警告・エラー内容	液晶表示	ブザー音
ナイフホルダ降警告	ナイフホルダが降りているときに出る警告です。 ブザー:ピー、ピー(断続音)		 断続音
キッカー降警告	キッカーが2秒以上降りているときに出る警告です。 またキッカー設定をOFFにせずにキッカーを取り外して作業すると警告が出ます。 ブザー:ピー(連続音)		 連続音
チャンバ開警告	チャンバが開いているときに出る警告です。 液晶表示:チャンバが開いています。 ブザー:ピー、ピー(断続音) 右図上の液晶表示の後に右図下の画面へ切り替わります。	 	 断続音

各部の名称とはたらき(コントロールボックス)

【コントロールボックスの警告・エラー表示】

警告・エラー名称	警告・エラー内容	液晶表示	ブザー音
チャンバ開・ キッカー降警告	チャンバが開いており、かつキッカーが降りているときに出る警告です。 ブザー:ピー(連続音) 右図上の液晶表示の後に右図下の画面に切り替わります。		 連続音
カム回転エラー	ネット繰り出しの際、カムが回転できないときに出るエラーです。 ブザー:ピー、ピー(断続音)		 断続音
ネットカウントエラー	ネット繰り出しおよび結束中に、ネットがチャンバ内に入っていないときに出るエラーです。 ブザー:ピー、ピー(断続音)		 断続音

各部の名称とはたらき（コントロールボックス）

◆メーカー設定モードの表示と変更方法

・「＋」「－」ボタンを押しながら、コントロールボックスの電源を入れてください。
・「次へ」「戻る」ボタンで変更したい設定項目に移動します。
・「＋」「－」ボタンで設定値を変更できます。
・設定後電源を切ると記憶します。
※むやみな設定変更は動作不良につながりますので、絶対にしないでください。
　変更する場合は販売店へご相談ください。

設定項目	説明	初期値	設定可能範囲
片寄りセンサ感度	片寄りセンサの反応感度を調整 （VC1621Wは片寄りセンサ無）	8	1～10 （1秒刻み）
ネット繰り出し量 （巻）	ネットの繰り出し量調整が行えます。	0.5	0．1～4．0 （0．1巻刻み）
トワイン繰り出し時間 （秒）	トワインを繰り出す時間を設定できます。（オプション）	8	1～30 （1秒刻み）
ネット繰り出し遅延時間 （秒）	満了感知後、設定した時間が経過してからネット繰り出しを行います。	0	0～10 （1秒刻み）
センサチェック	各センサのON/OFFとカウント数を表示します。 （詳細はP.37を参照）	―	―
ソフトコア固さ	ソフトコア設定径までの圧力を設定できます。	1	0～4
ソフトコア径 （%）	ベール直径に対するソフトコア率を設定できます。	70	50～90 （1%刻み）
バックアップモード	カウントセンサに不具合があったとき、タイマーでネット巻きできます。	0（OFF）	ON：1 OFF：0
バックアップ繰り出し時間 （秒）	バックアップ繰り出し時、ネットを繰り出す時間を設定。	5	1～10 （1秒刻み）
バックアップ結束時間 （秒）	バックアップ結束時、ネットを結束する時間を設定できます。	15	1～60 （1秒刻み）
予鈴タイミング （%）	予鈴が鳴り始めるタイミングを設定できます。	90	80～99 （1%刻み）
本鈴タイミング （%）	本鈴が鳴るタイミングを設定できます。	100	90～100 （1%刻み）

各部の名称とはたらき（コントロールボックス）

設定項目	説明	初期値	設定可能範囲
電圧警告（V）	設定電圧以下になると低電圧警告が表示されます。	11．4	9．8～12．5 （0．1刻み）
CHAM_ON_T（秒） （作業OKランプ点灯タイミング調整）	ベール放出後、チャンバが閉まってから作業OKランプが点灯するまでの時間を調整できます。	1．0	0．1～3．0
SEN_T_O （秒）	設定秒の間ネット繰出しカムセンサが反応しないと、 カムセンサ異常を出します。	10	0～10
CNT_T_O （秒）	設定秒の間ネット回転検出センサが反応しないと、ネット異常エラーを出します。	5	0～10
DIA_OFFSET	設定したベール径とできあがったベール直径が違っている場合に調整を行います。 できあがりベールを大きくしたいときは数値を減らしてください。 小さくしたいときは数値を増やしてください。	57	40～70
katayori	片寄りセンサが付いている機種に対応する際に使用します。 （VC1621Wは片寄りセンサ無）	0（OFF）	ON：1 OFF：0

◆センサチェック表示

・メーカー設定モード内のセンサチェック項目です。

・各センサの取付位置はP.71付表4. 構成部品の位置(電装)を参考にしてください。

確認項目	説　　明
チャンバ右	チャンバ閉右センサの状態を確認できます。(ON:0 OFF:1)
チャンバ左	チャンバ閉左センサの状態を確認できます。(ON:0 OFF:1)
オーバサイズ	取り付けていないセンサです。(OFF:1)
カム1	ネット繰出しカムセンサ1の状態を確認できます。(ON:0 OFF:1)
カム2	ネット繰出しカムセンサ2の状態を確認できます。(ON:0 OFF:1)
ナイフホルダ	ナイフホルダセンサの状態を確認できます。(ON:0 OFF:1)
トワインガイド	トワインセンサの状態を確認できます。(ON:0 OFF:1)
キッカー	キッカーセンサの状態を確認できます。(ON:0 OFF:1)
ベールサイズ	ベールサイズセンサの値を確認できます。(0～255)
ベール右センサ	取り付けていないセンサです。
ベール左センサ	取り付けていないセンサです。
カウント	ネット繰り出し量カウントセンサの状態を確認できます。
バッテリ電圧	バッテリ電圧の値を確認できます。(V 表示ではありません)
トータル	成型したベール個数(ソフトを書き変えない限りリセットされません)